

人口と世帯
 人口 426,937人
 男 209,797人
 女 217,140人
 (前月より30人減)
 世帯 190,100世帯
 (前月より20世帯増)
 (2016年1月1日現在)

発行・町田市 編集・政策経営部広報課
 〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
 市役所の代表電話 042-722-3111
 市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
 発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



今号の紙面から

3面

ライトダウンにご協力を
 ～まちだ・さがみはら絆・
 創・光

あなたからはじまる40%ごみ減量

JR横浜線以南地域の方へ

容器包装プラスチックの 分別収集、資源化にご協力下さい



問収集・分別に関すること＝
 3R推進課 ☎797・7111 FAX
 797・5325、施設整備に関
 すること＝循環型施設整備課
 ☎724・4384 FAX050・3160
 ・5479、制度に関すること
 ＝環境政策課 ☎724・4386
 FAX050・3160・2758

市では、「ごみになるもの
 を作らない・燃やさない・埋
 め立てない」を基本理念とし
 て、2011年に「町田市一般
 廃棄物資源化基本計画」を策
 定し、2020年度までにご
 みとして処理する量を200
 9年度の約10万トンから40%
 削減し、6万トンとすること
 を目標に取り組んでいます。
 この計画を踏まえ、201
 3年に「町田市資源循環型施
 設整備基本計画」を策定し、
 更新時期を迎える町田リサイ
 クル文化センターの2021
 年度建て替えと、市内3か所
 (相原エリア、上小山田西部エ
 リア、リレーセンターみなみ)
 での資源ごみ処理施設の20
 20年度稼働を目指して、作
 業を進めています。
 その第一歩として、JR横
 浜線以南地域の燃やせるごみ
 の中継施設であるリレーセン
 ターみなみ(鶴間467-
 5)の改修工事を行い、容器
 包装プラスチックの資源化に
 必要な設備を新設し、手選別
 や圧縮梱包ができるようにな
 りました。
 そこで、市内全域での実施
 に先がけて、4月1日からJ
 R横浜線以南地域で、容器包
 装プラスチックの分別収集を
 開始します。
 この取り組みにより、今ま
 でごみとして燃やしていた容
 器包装プラスチックが資源化
 され、ごみの減量はもとより、
 再商品化などによる資源の節
 約や焼却時に出る二酸化炭素
 の削減ができます。資源化さ
 れた容器包装プラスチック
 は、倉庫などで運搬に使われ
 るパレットや、公園・花壇など
 で使われる擬木等として有効
 活用されます。資源化へのこ
 理解ご協力をお願いします。
 ○対象地域 小川・金森・金
 森東・つくし野・南つくし野

プラスチックごみの分別が3種類になります

変更前	燃やせるごみ (やわらかいプラスチック)	燃やせないごみ (かたいプラスチック)
変更後	燃やせるごみ	燃やせないごみ

容器包装プラスチックに該当する品目は、「資源とごみの出し方ガイド」で確認できます。

※分別方法や収集品目、指定
 収集袋の販売店等の詳細は、
 対象地域の方に配布した「資
 源とごみの出し方ガイド」、
 または町田市ホームページを
 ご覧下さい。

試運転用収集
 2月15日(月)～3月31日(木)
 に、施設の試運転のため対象
 地域で分別収集を行います。
 ※対象地域の各戸に試運転用
 収集袋を配布しました。
 ※詳細は、対象地域の方に配
 布したチラシ「容器包装プラ
 スチック 施設の試運転にご
 協力下さい」をご覧ください
 か、町田市ホームページをご
 覧下さい。

・鶴間・成瀬が丘の全域、原
 町田1丁目の一部(都営町田
 金森1丁目アパート10号棟)、
 約3万世帯(約7万人)

○**収集品目** 容器包装プラ
 スチック(卵のケースや食品容
 器等のプラスチック容器、カ
 ップ麺の容器や食品トレー等
 の発泡スチロール類、レジ袋
 や食品の袋等のポリ袋類
 (他)

○**収集日** 週一回
 ※収集日は「資源とごみの収
 集カレンダー」でご確認下さ
 い。

○**収集袋** 中袋(20リットル、
 10枚入り) 1160円、大袋
 (40リットル、10枚入り) 1
 320円
 ※燃やせるごみ・燃やせない
 ごみの収集袋の半額です。

袋のサイズは2種類で
 す。色はピンク色です

**2月12日(金) 町田市・相模原市合同で
 町田駅帰宅困難者対策訓練を実施**

町田駅周辺地域は、大規模
 地震等、公共交通機関が停止
 するような災害が発生した場
 合に、約1万2000人の帰
 宅困難者が発生する想定さ
 れ、公共交通機関の復旧まで
 の間、帰宅困難者の誘導、一時
 滞在施設の開設・運営などが
 喫緊の課題となっています。
 市では、東日本大震災にお
 いて町田駅周辺で多数の帰宅
 困難者が発生したことを教訓
 に、帰宅困難者対策訓練を実
 施します。

この訓練は、首都直下地震
 の発生を想定し、民間の一時
 滞在施設を活用した、相模原
 市と合同で行う訓練です。
 JR町田駅周辺の道路を帰
 宅困難者の方が移動します
 ので、ご理解ご協力をお願い
 します。

○**訓練日時**
 2月12日(金)午後1時～4時
 30分

○**訓練場所**
 JR町田駅(原町田1丁
 目)、ホテルラポール千寿閣

町田市賞「桜にうずもれて」

**町田市観光コンベンション協会賞
 「子供達を待つ」**

**写ガール賞
 「ごころうさま」**

市とカメラ雑誌「写ガール」
 (柘出版社)、町田市観光コン
 ベンション協会との共催で実
 施した、「まちだフォトコン
 テスト」(募集テーマ「町田の
 花・緑・自然」)の受賞作品
 が決定しました。
 多数のご応募ありがとうございました。
 各賞の受賞者と作品名は次
 のとおりです(敬称略)。

○**町田市賞**(グランプリ) 中野定信「希望」
 えみーる☆☆「桜にうずもれ
 て」
 ○**町田市観光コンベンション
 協会賞** 伏谷雅子「子供達を
 待つ」
 ○**写ガール賞** kokoro「ご
 ころうさま」
入賞(順不同)
 小竹久「朝日を受けて輝く朝
 もやの尾根緑道」
 原田佳実「あめの日」
 藤江健次「公園のニコニコ」

中野定信「希望」
 藤野綾乃「虹のダリア園」
 satoko「モルモットが
 んばります」
 栗原美保子「古道」
 ※受賞作品は、1月20日発売
 の「写ガール vol.27」、または
 町田市ホームページ(入賞は
 外部リンク先)をご覧ください
 けます。

問 広報課 ☎724・2101
 FAX 724・1171

**事業者の方へ、
 帰宅困難者対策を**

震災時に、むやみに移動す
 ることは危険です。事業者の
 方は、従業員などの一斉帰宅
 の抑制に努めて下さい。ま
 た、従業員などが待機するた
 めの3日分以上の水・食料な
 どの備蓄をお願いします。

問 防災安全課 ☎724・32
 18 FAX 050・3085・6
 519

「まちだフォトコンテスト」グランプリ決定!

町田市×写ガール×町田市観光コンベンション協会